



パンフレットNo. AN032

2002年9月作成

工業用

捺染用複合助剤（均染・浸染・濃染）

エマルシン T-57

(EMULSYN T-57)

捺染加工ではそれぞれの素材に適した糊剤が選定されますが、素材の多様化にともなって、捺染助剤の添加により素材に合った色糊の調整が行われます。

例えば、厚地や強撚糸素材に浸透が不足する場合には浸透剤を添加し、いらつきの目立つ素材には均染剤を添加します。ブリードしやすい素材にはブリード防止剤が応用され、色糊を均一に付与するため、印捺作業性向上剤が添加されます。またHTスチーマーを使用した過熱蒸気での固着は、水分不足により発色性が不十分なため濃染剤を添加します。水洗工程で糊落ちを向上させるためには、エマルジョン糊を元糊に併用します。このように目的に応じた捺染剤を添加し、素材や印捺工程に合った色糊を調整が必要となります。エマルシン T-57 はこのような複合的な性能をもつ捺染助剤です。

性質・性状

外観	淡褐色液体
成分	特殊自己乳化型脂肪酸誘導體
イオン性	ノニオン・アニオン
pH	中性

特徴

1. スカーフ、サリー、ハンカチなどに表裏が同一になる浸透性を与えます。
2. 高速スピードで印捺する場合、スキージング性、紗離れ、転写性を向上し均一に色糊を付与します。
3. 色糊を生地の内部に浸透させることにより、型ふみのトラブルを解消します。
4. 糊皮膜がソフトになるため糊割れを防止します。
5. 色糊の粘性を低下させ糊飛びを防止します。
6. 過熱蒸気による固着（HTスチーマー）では発色性を安定させ、特に分散染料に対して濃染効果を発揮します。
7. 糊皮膜をすばやく水に馴染ませ、脱糊性を向上します。



相 容 性

染料：分散染料、酸性染料、直接染料などに適応性があります。

糊 剤：グアガム、ローカストビーンガム、タンテルガム、ラメクリスタルガム
CMC、CMS、HEC、アルギン酸ソーダ、友禅糊、ブリテッシュガム
等の捺染糊剤と任意の割合に混合できます。

還元剤：還元捺染糊に適応性があります。

使 用 法

使用する染料の種類・濃度、素材により異なりますが、一般的には、色糊中5～10g/kg使用します。またエマルシンT-57を50%水溶液にして、ミキサーで攪拌して乳白色のエマルジョンとし、これを色糊中に添加します。

使 用 例

1. ポリエステルスカーフ・サリーの浸透捺染（HTS）

	(A)	(B)
分散染料	X g	X g
温 湯	Y	Y
アルギン酸ソーダ (7%)	200	200
CMC (8%)	150	150
ソルビトールゼC-5 (15%)	200	200
レジスターL(還元防止剤)	10	10
りんご酸(1:1)	2	2
エマルシンT-57	5	3~5
センカシンラインD	—	20~30
	1000 g	1000 g

A：地型・大柄 (浸透性・均染性を重視する柄)

B：細線・重色柄 (シャープ性を重視する柄)

工程：

印捺 → 乾燥 → H.T.S. → 水洗 → 還元洗浄 → 水洗
175℃×8分

*センカシンラインDは絵際のシャープ性とHT濃染効果とを有します。



2. セルローズ繊維／反応染料の浸透・均染捺染

反応染料	X g
尿 素	80 (レーヨンの場合は150 g/kg)
熱 湯	Y
アルギン酸ソーダ (4%)	300
ECN-11 (22%)	200
重 曹	20
レジスターL	10
エマルシンT-57	5~10
<hr/>	
	1,000 g

ECN-11 : アルギン酸と併用して、カラーバリエーションの高い発色性を有する鉱物系含有糊剤です。

用 途

- 1) ポリエステルスカート、及びサリーの浸透捺染
- 2) 分散染料の防抜／地色しごきの均染捺染
- 3) ハンカチ／反応染料の浸透捺染
- 4) シルク、及びウールスカートの浸透捺染
- 5) レーヨンの均染捺染
- 6) ポリエステル／セルローズ混のサーモゾール、或いはHT発色用濃染剤として
- 7) ポリエステル／HT発色用濃染剤として

ご 注 意

使用に際しましては充分試験の上ご使用下さい。

入 目

18 kg



エマルシン T-57

取扱いおよび保管上の注意事項

- 1) 取扱い中は、直接身体に触れないように保護手袋、保護メガネを着用して下さい。
- 2) もし誤って眼や口に入ったときは、直ちに流水でよく洗い流し医師の手当てを受けて下さい。
- 3) 皮膚に直接触れた場合は、直ちに流水でよく洗い流して下さい。もし発疹その他の異常が生じた場合は速やかに医師の手当てを受けて下さい。
- 4) 取扱い後は手洗い、うがいを充分に行ってください。
- 5) 使用途中の容器は密閉し、異物が入らないようにして下さい。
- 6) 保管に際しては直射日光を避け、冷暗所（5℃～35℃）で保管して下さい。
- 7) 廃棄するときは、産業廃棄物として処理して下さい。

お 願 い

弊社発行の「製品安全データシート（MSDS）」を用意しております。併せてご活用下さい。